

前回意見	対応方針	今回対応	次回対応	策定後の 具体検討 で対応
1 ジブリパークや東郷町でのららぼーとが開業予定であり、新たなニーズの発生を想定し、近隣市町との連携について計画で触れてほしい。	・基本方針：2まちの変化への対応と持続性の確保の文言の一部を変更。 (資料1-2)	○		
2 公共交通の必要性を教育していくことが重要ではないか。	・基本方針4：利用促進による維持・活性化の中に「公共交通の利用促進を子どもからお年寄りまで幅広い年代を対象に展開していくとともに」の文言を追加。 (資料1-2)	○		
3 長久手市の近隣には多くの大学があるので、大学と連携し、高齢者や子どもなどを取り込んで利用促進を進めていけるとよい。	・計画事業の「(9) 各関係機関と連携した利用促進の展開」として位置付け、この事業の中で取り組む。 (資料3)	○		○
4 地域公共交通網形成計画に記載が必要な事項について漏れないように。	計画をまとめる際に対応		○	
5 タクシーと乗合タクシーは別物であるため現状の整理では分けて記載するように。			○	
6 福祉有償運送について、記載する必要があるのではないか。			○	
7 乗合タクシーが本格運行に入るのであれば、目的、役割分担、連携を明確にし、計画に位置付けることが重要である。	本格運行後の目的、役割分担等については計画事業の「(4) Nーバス及び新しい移動サービスの見直しの仕組みづくり」の中で位置付ける予定である。 (資料3)			○
8 路線再編を行う際には、労働条件、労働環境についても考慮してほしい。	労働条件等を踏まえてNーバスの見直しを行う。			○
9 Nーバスの路線体系は「居住地ゾーンを訪問する路線」と「目的地ゾーンを巡回する路線」に分けて、各地区の路線の起終点を変更して、各地区から目的地ゾーンへ接続するような体系にしてはどうか。	計画事業の「(2) 利用状況やニーズに応じたバス路線への見直し」の中の「① Nーバスの見直し(路線・案内表示等)」の事業の中で検討する。 (資料3)			○